

株式会社 **菅原組** 社報

47
2023.8



おかげさま



◎ 現場レポート

北海道津軽海峡地区戸井増殖場造成工事

◎ 社員インタビュー

◎ 2023事業場表彰「江良漁港西防波堤改良工事」

◎ 社会貢献活動①

函館市・松前町 交通安全運動街頭啓発

◎ 社会貢献活動②

函館港まつり「ワッショイはこだて」

◎ ベジチェック実施 &

健康ワンポイントアドバイス「夏野菜」





【工事名】

北海道津軽海峡地区 戸井増殖場造成工事

【工事場所】函館市(旧戸井町)

今回の
レポーター



現場代理人兼監理技術者

ふくはら なおき

福原 直樹

概要

本工事は函館市
釜谷、汐首、瀬田来地先に、
マコンブ・ソイ類・アイナメの
増産を対象とした
増殖場を造成する工事です。

工期

令和5年6月23日～令和6年1月20日

施工

現場代理人
兼監理技術者:福原直樹

工事係:平野聖人
飯塚遥輝(新入社員)
尾形俊明(新入社員)

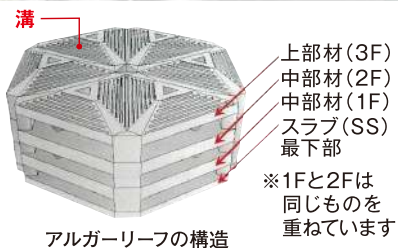
増殖場造成工事の意義

現在北海道近海の養殖昆布の漁獲は比較的安定していますが、天然真昆布はこの20年ほどで漁獲量が半減し、危機的な状況にあります。その状況を打破するため天然真昆布の着生と繁茂、増産を目的に増殖場の造成を行っています。

今回の工事は「アルガーリーフ(藻場礁)」という着定基質(増殖の対象となる生物(今回は真昆布)にとって良好な生息場)のブロックを製作し、海中に設置するものです。天然の昆布の森を再生させることにより、副次的にも多様な生物が産卵し稚魚が育つ「海のゆりかご(藻場)」を再生・拡大することができます。

これは当社も賛同している「持続可能な開発目標(SDGs)

宣言]にある「海の豊かさを守ろう!」などに合致しているものであり、高精度の製品を造ることで、微力ながら社会に貢献したいと考えています。



アルガーリーフの構造

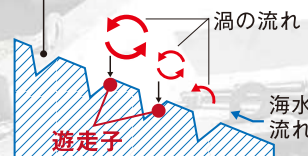


アルガーリーフに繁茂する真昆布



アルガーリーフに集まるエゾアワビ

溝:この上に渦が発生し、下向きの流れができます。そこに「遊走子」と呼ばれる昆布などの藻類の種が沈着します



アルガーリーフの表面

アルガーリーフ(中部材)のできるまで



1 アルガーリーフの型枠、鉄筋が入っています

2 型枠にコンクリートを流し込みます

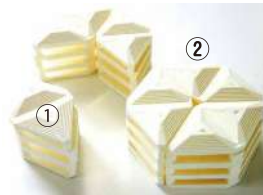
3 表面を手作業で平坦にならします

4 コンクリートが固まったら型枠を外します

5 製作年月日とナンバーを刻印し部材が完成

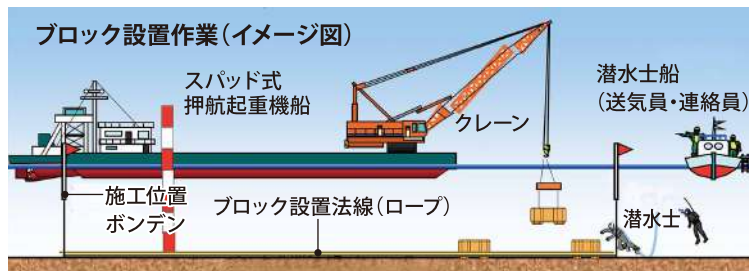
■ アルガーリーフの特徴について

アルガーリーフは右の写真のような構造になっています。②がアルガーリーフ1基の完成型です。上から見ると正六角形をしています。菱形をしている①は3種類12個の部材でできており、同じ物3個をボルトナットで連結します。そうして出来上がったのが②になります。1基あたりの大きさは約3.3×3.6×1.5m、重さは約14.6tです。



アルガーリーフの模型
①の部材を組んだ物3つで1セット(②)になります。

今回は、3種類で600個の部材を鉄筋とコンクリートによって製作します。製作後、製作ヤードから漁港の岸壁まで運搬し、50基のブロックに組立て、指定箇所(釜谷工区18基、汐首工区18基、瀬田来工区14基)の海底(水深約8m)に設置します。



ちなみに海底にどのように設置するかというと、GPS測量で設置したボンデン(浮きのような目印)に合わせ、海底にロープを張り、ブロック設置法線を予め設置します。設置作業は潜土士が潜水土船の連絡員へ有線で指示し、起重機船のクレーンオペレーターへ無線で繋ぎ、ブロックを所定の位置となるように設置します。細かい位置の微調整は潜土士が目視で行い指示を出します。このように熟練した作業員同士がミーティングや注意喚起、一声掛けを行うなど、密にコミュニケーションをし、連携しながら作業していきます。

■ コミュニケーションと達成感

今回は他のブロックに比べて比較的小さく軽いものをたくさん作ります。実は大きくて重いものの方がみんな怖がって慎重に作業するんですが、物が小さいと安易に考えがちになります。そこでどれだけ緊張感を持って精度を出すかがポイントになります。

そのために現場でいちばん大切にしていることはコミュニケーションです。共通認識を持って、意思疎通ができれば段取りもスムーズになり、テキパキと仕事が進みます。その程よい緊張感が結果高精度の製品につながります。それができたときやはり達成感を感じますね。現場では似たような内容の仕事を担当することもあります。そんな時は前よりも少しでも良いものを造る。それを目指して実現できればもっと達成感を得ることができると思います。



— スタッフよりひと言コメント —

飯塚:今回が会社に入ってから初めての現場なので最初はとても緊張していましたが、福原所長と平野さんのおかげで、いい雰囲気です。今回の現場でたくさんの経験を積んで、次に繋げていきたいと思っています。

尾形:自分も飯塚と同じく入社後初めての現場なので、わからないことばかりですが、早く現場の雰囲気に慣れるように、自分から積極的に行動していきたいと思っています。

平野:2人に伝えているのですが、現場は自分たちだけで動くのではなく、協力会社に指示する立場なので、急なことでも快く動いていただけよう、普段からうまくコミュニケーションを取って良い関係を築くことが大事だと思います。

上手にコミュニケーションが取れるようこれからも頑張っていきたいと思います。



今月の一言

前より良いモノづくりをする
その達成感に勝るものなし



社員インタビュー

船団長として第十八すがわら号を取り仕切る平沼さん。
個性の異なるメンバーをまとめ
団結力の高いチーム作りに尽力しています。
そんな平沼さんの仕事観をお聞きしました。



第十八すがわら号 船団長

平沼 雅俊 (ひらぬま まさとし)

菅原組入社きっかけは？

22、3歳の時に知人の紹介で入社しました。

入社してしばらくは陸の仕事をしていましたが、26、7歳の時に船に乗ることになって。そのまま今に至ります(笑)

どのような仕事をしていますか？

クレーン船の操縦をしています。クレーン船は足で旋回操作するので普通のクレーンとは感覚が違いますね。基本的な操作を覚えたら場数を踏んで慣れることが必要です。センスが必要ですが、それは数をこなすと自然と感覚が身についてきます。

20年以上やっていますが、それでもまだまだだなと感じることがありますね。

仕事をする上で必要なものは？

まずはやる気。一生懸命やること。やはりこれに尽きるんじゃないですかね。

ないですかね。

臨機応変な対応も必要だと思います。

船の上の仕事なので少しの油断が命取りになります。そこは気を付けてやっています。

これまでで一番大変だった仕事は？

岩手の小本漁港でテトラポットの据え付け作業をしている際、天候が悪い日が多く、なかなか思うように進みませんでした。

この仕事は常に天候、海の状態に左右されるのですが、あの現場は本当に大変でした。

仕事をする中で大切にしていることは？

船は会社の財産なので、壊さないように大切に扱っています。

それと安全面。事故なく仕事を進めるためにしっかりチェックして目配り気配りを欠かさないようにしています。



奥左に見えるのが運転席、右手前の黄色と黒色のものがワイヤーを掛けるフックです

この仕事をしていてよかったと思うポイントは？ またこれからの目標も教えてください。

船に乗れて、あちこち行けるのがいいですね。行った先々で美味しいものを食べたり温泉に入ったりしてます。

「第十八すがわら号」のチームは長年一緒に仕事をしていて、お互いよい関係を保っているのも、この仲間と一緒に仕事ができることがよかったです。

これからも体力の続く限りこの仲間と仕事を続けていきたいと思っています。



第十八すがわら号、赤いところがクレーン部



江良漁港西防波堤改良工事

2022年度完成工事の内、無事故・無災害を達成し、安全衛生活動の実践が特に優秀と認められる8事業場が選出され、令和5年7月21日(金)にホテル函館ロイヤルで表彰式を執り行いました。

選出された8事業場の1つに当社の「江良漁港西防波堤改良工事」が選ばれ、表彰式に現場代理人の高山隆寛が出席。函館労基署署長及び建災防函館分会森川会長より表彰状と記念品を受理しました。



受賞コメント 高山隆寛

「現場の安全運営をして下さった米内職員、池田職員、協力会社様の日頃の努力が結果として認められ、大変嬉しく思います。今後も無事故・無災害を継続できるよう努力します」

社会貢献活動①

7月13日(木)松前町内の国道228号沿い、
14日(金)函館本社近くの国道227号沿いで
両日「交通安全運動街頭啓発」を行いました。



松前ではサッカー、陸上、野球の3つの少年団と松前署、町交通安全推進委員会と一緒に、函館では北浜町会や近隣企業の(株)松本組、(株)田中組函館支店、スポーツ少年団と一緒に、警察の方々の協力を受けながら道行くドライバーにスピードダウンとシートベルト着用、飲酒運転の撲滅を弊社が松前で養殖している早煮昆布や啓発グッズの入った袋を渡して呼びかけました。今年は函館と創業の地である松前の2カ所で実施。総勢120名超が参加しました。

参加していただいた各団体の代表の子から最後に「交通ルールをしっかりと守ります」という安全宣言をしていただきました。それを受けて菅原社長より「車に乗ったらシートベルト、自転車に乗ったらヘルメット着用。という交通ルールへの理解と安全意識を高めてほしい」と交通事故の根絶を願いメッセージを送りました。



函館チーム



松前チーム

函館



松前



社会貢献活動②

8月3日(木)

函館港まつり

ワッショイはこだて



総勢350名で踊りました!

〈函館港まつり〉

昭和10年から始まった函館最大のイベント「函館港まつり」は、函館港から豪快かつ華麗な花火が打ち上げられる「道新花火大会」や、市民が「函館港おどり」や「函館いか踊り」を踊りながら街を練り歩く「ワッショイはこだて」が行なわれ、市内一円が賑わいます。当社は「港づくり」を仕事とする企業として「函館の街を元気づけたい、函館港まつりを盛り上げたい、地域貢献活動の一環として参加したい」との想いから「函館港まつり」に参加しています。



今回のMCのおふたり



いよいよ出発!



8月3日(木)函館港まつり「ワッショイはこだて【千代台・五稜郭コース】」に菅原組グループで参加しました。

4年ぶりの開催となった「ワッショイはこだて」。菅原組グループは役員・従業員とその家族、協力会社、ご友人や学生の総勢350名という、全参加団体中最多の人数で函館いか踊りを踊ることが出来ました。

菅原組グループのお揃いのTシャツを着て皆で踊る函館いか踊りは最高でした!

開催にあたりご協賛・ご協力いただきました企業・団体の皆様、菅原組グループに参加いただき、一緒に踊って盛り上げていただいた皆様、本当に有難うございました!おかげさまで無事終了することが出来ました。厚く御礼申し上げます。



ベジチェック(野菜摂取量測定)を実施しました

6月23日(金)10:30より本社にいた26人がベジチェック体験をしました。結果は木川参与の野菜接種レベルが一番多い数値でした!(なんと9.3!)

1日の野菜接種目標量350gは野菜摂取レベル7~8になります。今回は26人中3名がレベル7を超えていました。もう少し野菜摂取量を増やし、1日の野菜接種目標量350gを目指す食事を意識してもらえたらと思います。次回は3~4ヵ月後を予定しています。

◆ベジチェックとは?

推定野菜摂取量を見る化します。手のひらをセンサーに約30秒あてるだけで、簡単に推定野菜摂取量を見る化できる機器です。



健康ワンポイントアドバイス

今月は「夏野菜」です。

「夏野菜」は、夏に旬を迎える・収穫される野菜の総称です。

旬の野菜は栄養価が高いのに加え、生で食べられるものが多いので栄養素を手軽に補給することができます。

種類

果菜類(かさいるい) 主に果実や種を食べる野菜	葉茎菜類(ようけいさいるい) 主に葉や茎を食べる野菜	根菜類(こんさいるい) 主に根や地下の茎を食べる野菜
<ul style="list-style-type: none"> きゅうり とうもろこし トマト ズッキーニ なす 枝豆 ピーマン 	<ul style="list-style-type: none"> キャベツ レタス モロヘイヤ 	<ul style="list-style-type: none"> にんにく しょうが やまいも

栄養

水分やカリウムを豊富に含んでいるものが多く、身体をクールダウンしてくれるため夏バテ・熱中症予防に効果的です。

βカロテン：カラダの成長に関わる
(ビタミンA) ピーマン・トマト・ズッキーニ など

カリウム：体内の水分量を調節
きゅうり、やまいも、枝豆、なす など

ビタミンC：皮膚や粘膜の健康維持を助ける
トマト、ゴーヤ、ピーマン など

調理

夏野菜の栄養を効率よく摂取するために以下のポイントを抑えましょう。

- ✓ 油で調理することで脂溶性ビタミンの吸収率UP
- ✓ 加熱を短時間にして、栄養素の損失を防ぐ
- ✓ 皮付近は栄養がたっぷり

夏野菜を食べて、暑い夏を乗り切りましょう!!

たっぷり夏野菜のキーマカレー



材料 (5人前)

カレールー	約90g	ピーマン	2個
牛豚ひき肉	250g	パプリカ	1/2個
玉ねぎ	中1個	サラダ油	大さじ1
トマト	中1個	水	200ml
なす	2本	卵(お好みで)	1個

作り方

- 玉ねぎはみじん切り、トマト、なす、ピーマン、パプリカは2cm角に切る。
- フライパンにサラダ油を熱して①の玉ねぎをよく炒め、すき通ってきたらひき肉を加えて炒める。
- ①のトマトの半量、なす、ピーマン、パプリカを加えてさっと炒めたら、水を加え、沸騰したらあくを取り、ふたをして中火で約5分煮込む。
- いったん火を止め、ルーを割り入れて溶かし、再び弱火で時々かき混ぜながら約10分煮込む。
- 最後に残りのトマトを加えてひと煮立ちさせる。
- お皿に盛り付けて完成(卵はお好みでどうぞ)



株式会社 菅原組 社報

おかげさま

Vol.47 2023年8月号

発行・企画：株式会社 菅原組

〒040-0076 北海道函館市浅野町4番16号
TEL:0138-44-3710 FAX:0138-62-3710

デザイン・印刷：株式会社 エルシープリント

〒040-0072 北海道函館市亀田町6番7号
TEL・FAX:0138-40-6686

編集後記



「函館港まつり」初日の8月1日に花火大会を観に行きました。摩周丸と共に観る花火はとても綺麗でした。今年には函館出身のGLAYの曲と共に打ち上げるコーナーもあり、GLAY世代の自分には刺さりました(^^♪ (小藤)

防災イベント×はこだてマジックアワー商店街～北浜町出張！



北浜町会や近隣企業など有志で組織する防災会「たられば会」が8月5日(土)に初の防災イベントを開催しました。北浜町会の夏祭り同日の昼に「防災を身近に感じてもらう」と企画。函館市も協力し、消防車やパトカー、重機など災害時に活躍する車両や災害時に活用するテント、ダンボールベッド、トイレなどが展示されました。水を使った消火器体験も行われ、楽しみながら災害時の備えを学びました。

参加者から「1つ1つ丁寧に説明してくれて分かりやすかった。いい体験ができた。また来年も楽しみにしています」と声がありました。

防災訓練イベント開催します

開催日：9月1日(金) 16時半 場所：ハート to ハート北浜 駐車場

はこだてマジックアワー商店街 in 菅原組

開催日：8月8日(火)16:00～18:30

8月のマジックアワーは夏休み期間中の子供たちがたくさん駆けつけてくれました。なかでも人だまりが出来ていたのが現役専門学生のマジシャンRUA。今回函館凱旋公演をマジックアワー商店街in菅原組で行いました。子供たちはRUAのマジックに興味津々。キッチンカーで購入した料理や飲み物を食べながら楽しみました(^^)

次回は9月5日(木) 16:00～18:30 お楽しみに

●場所：菅原組本社駐車場(浅野町4-16)
※車は空いているスペースにお停めください